



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

コード番号 2374 URL <https://www.saint-care.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤間 和敏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 瀧井 創 TEL 03-3538-2943

四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (アナリスト・機関投資家向けライブ配信及び当社サイトに動画掲載)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,015	10.6	728	△0.4	754	3.4	495	3.1
2022年3月期第1四半期	11,770	5.8	731	23.3	730	22.8	481	6.6

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 499百万円 (3.5%) 2022年3月期第1四半期 483百万円 (7.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	19.85	19.66
2022年3月期第1四半期	19.27	19.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	27,129	13,655	50.0
2022年3月期	27,491	13,655	49.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 13,574百万円 2022年3月期 13,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期 (予想)	-	0.00	-	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	26,197	10.4	1,536	5.4	1,513	5.4	964	1.6	38.62
通期	53,000	8.4	3,200	11.7	3,140	11.5	2,008	9.3	80.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	24,981,199株	2022年3月期	24,981,199株
2023年3月期1Q	168株	2022年3月期	168株
2023年3月期1Q	24,981,031株	2022年3月期1Q	24,965,618株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による活動制限が緩和されたことで経済活動が正常化に向かう一方、オミクロン株の流行による感染再拡大の影響、ウクライナ情勢の長期化や物価上昇等により、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く経営環境は、超高齢社会を背景に今後サービスに対する需要の増加が予想されております。その一方で、生産年齢人口の減少とともに人材の確保がより一層厳しさを増しているものの、介護職員の収入を引き上げるための措置として介護職員処遇改善支援補助金が交付されるなど、国の政策は追い風となっております。新型コロナウイルス感染症に対しては、冬場の第6波の感染拡大はピークアウトしたものの、国内の新規感染者数は高止まりで推移するなか、6月下旬より急速に感染再拡大しており、第2四半期以降も引き続き予断を許さない状況は続いております。

当社グループは、介護サービスの領域におけるお客様の多様なニーズに対応した付加価値の高いサービス・商品を幅広く提供しております。当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、サービス全般でお客様数は増加するなど、感染症が収まらないなかでも堅調に推移いたしました。利用控え等の影響が続いていたデイサービスにおいてもお客様数や利用回数が増加するなど、回復の兆しが見られました。既存拠点や前期において新規開設した拠点の貢献などが売上を支えました。

一方、費用面においては、当期は前期を上回る新規出店を計画しており、当第1四半期連結累計期間に開設した拠点の費用や第2四半期以降に出店する拠点の開設前費用として人件費を中心に増加いたしました。これらに加え、昨年の11月に株式会社福祉の里が連結子会社となり当期業績に加わった結果、売上高では130億15百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

また、営業利益では7億28百万円（同0.4%減）と僅かながら減益となったものの、経常利益は7億54百万円（同3.4%増）及び親会社株主に帰属する四半期純利益は4億95百万円（同3.1%増）と増益となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

訪問系サービスでは、主に訪問介護や訪問入浴、居宅介護支援において株式会社福祉の里が業績に寄与いたしました。また、訪問看護では、既存拠点や前期に開設した拠点の伸長に加えて、当第1四半期連結累計期間に5ヶ所を開設したことで売上を伸ばしております。一方で、新規開設にかかる費用が増加したほか、既存拠点においても積極的な採用により人件費が増加したことで減益となりました。

施設系サービスでは、お客様数が全般的に増加したことで増収となっております。看護小規模多機能型居宅介護では、当期では6ヶ所の開設を計画しており、当第1四半期連結累計期間においては新規施設を2ヶ所開設するなど、積極的に規模拡大を進めております。新規開設にかかる費用は発生しているものの、前期8ヶ所の開設拠点の貢献や既存拠点の改善も進んだことで増収増益となっております。また、デイサービスにおいても、利用控えから回復基調となり増収増益となりました。

これらの結果、売上高は127億84百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は5億26百万円（同3.8%減）となりました。

・その他

その他においては、セントワークス株式会社における労働者派遣事業及び介護保険請求ASPシステムの販売事業で顧客が減少しました。その結果、売上高は3億42百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益は6百万円（同66.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より3億61百万円（前期末比1.3%）減少し、271億29百万円となりました。

流動資産は、前期末より2億82百万円（同2.0%）減少し、138億42百万円となりました。これは主に売掛金が3億78百万円、流動資産「その他」に含まれております未収入金が1億68百万円増加した一方で、現金及び預金が8億34百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末より78百万円（同0.6%）減少し、132億87百万円となりました。これは主に有形固定資産が1億35百万円増加した一方で、投資その他の資産が1億68百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前期末より1億63百万円（同2.3%）減少し、69億20百万円となりました。これは主に未払金が8億88百万円、流動負債「その他」に含まれております預り金が3億61百万円増加した一方で、賞与引当金が8億81百万円、未払法人税等が3億74百万円、流動負債「その他」に含まれております未払費用が82百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前期末より1億98百万円（同2.9%）減少し、65億53百万円となりました。これは主に長期借入金金が1億66百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前期末より0百万円（同0.0%）増加し、136億55百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想については、2022年5月16日に発表いたしました業績予想から変更はありません。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,605,957	4,771,434
売掛金	7,383,324	7,761,412
棚卸資産	137,343	125,521
その他	1,019,876	1,205,811
貸倒引当金	△20,927	△21,531
流動資産合計	14,125,574	13,842,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,245,088	4,746,631
リース資産(純額)	2,794,442	2,745,612
その他(純額)	1,533,701	1,216,298
有形固定資産合計	8,573,232	8,708,542
無形固定資産		
のれん	450,840	429,749
リース資産	8,259	7,227
その他	374,837	351,919
無形固定資産合計	833,937	788,895
投資その他の資産		
差入保証金	2,136,378	2,130,984
その他	1,822,368	1,658,880
投資その他の資産合計	3,958,746	3,789,864
固定資産合計	13,365,917	13,287,303
資産合計	27,491,492	27,129,950
負債の部		
流動負債		
買掛金	524,297	486,874
1年内返済予定の長期借入金	767,531	745,088
リース債務	186,885	185,421
未払金	3,016,538	3,905,229
未払法人税等	472,549	98,220
賞与引当金	1,384,705	503,032
その他	731,886	997,062
流動負債合計	7,084,394	6,920,929
固定負債		
長期借入金	1,510,362	1,344,090
リース債務	3,141,914	3,095,722
退職給付に係る負債	1,742,591	1,777,181
資産除去債務	138,332	139,223
その他	218,752	197,302
固定負債合計	6,751,953	6,553,520
負債合計	13,836,347	13,474,449

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,764,646	1,764,646
資本剰余金	1,720,546	1,720,546
利益剰余金	10,175,710	10,172,074
自己株式	△92	△92
株主資本合計	13,660,811	13,657,175
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△86,251	△82,258
その他の包括利益累計額合計	△86,251	△82,258
新株予約権	80,584	80,584
純資産合計	13,655,144	13,655,501
負債純資産合計	27,491,492	27,129,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	11,770,450	13,015,614
売上原価	10,162,311	11,341,786
売上総利益	1,608,139	1,673,827
販売費及び一般管理費	876,900	945,790
営業利益	731,238	728,036
営業外収益		
受取利息	1,203	1,120
受取配当金	1,671	2,929
受取保険金	2,547	2,520
受取家賃	9,461	10,937
補助金収入	15,641	9,002
助成金収入	4,112	3,958
その他	13,005	43,055
営業外収益合計	47,643	73,525
営業外費用		
支払利息	35,937	34,063
持分法による投資損失	9,316	9,347
その他	3,619	3,380
営業外費用合計	48,872	46,792
経常利益	730,008	754,769
特別利益		
固定資産売却益	10	73
補助金収入	3,139	2,110
特別利益合計	3,149	2,183
特別損失		
固定資産除却損	93	89
固定資産圧縮損	2,149	2,025
減損損失	228	1,065
特別損失合計	2,471	3,180
税金等調整前四半期純利益	730,687	753,772
法人税等	249,479	257,788
四半期純利益	481,207	495,984
親会社株主に帰属する四半期純利益	481,207	495,984

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	481,207	495,984
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	2,052	3,993
その他の包括利益合計	2,052	3,993
四半期包括利益	483,260	499,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	483,260	499,977

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。